

3-2 群馬・栃木県境の地震活動（1988年9月～1990年5月）

Seismic Activity near the Border of Gunma and Tochigi Prefectures (September, 1988 - May, 1990)

気象庁地震予知情報課

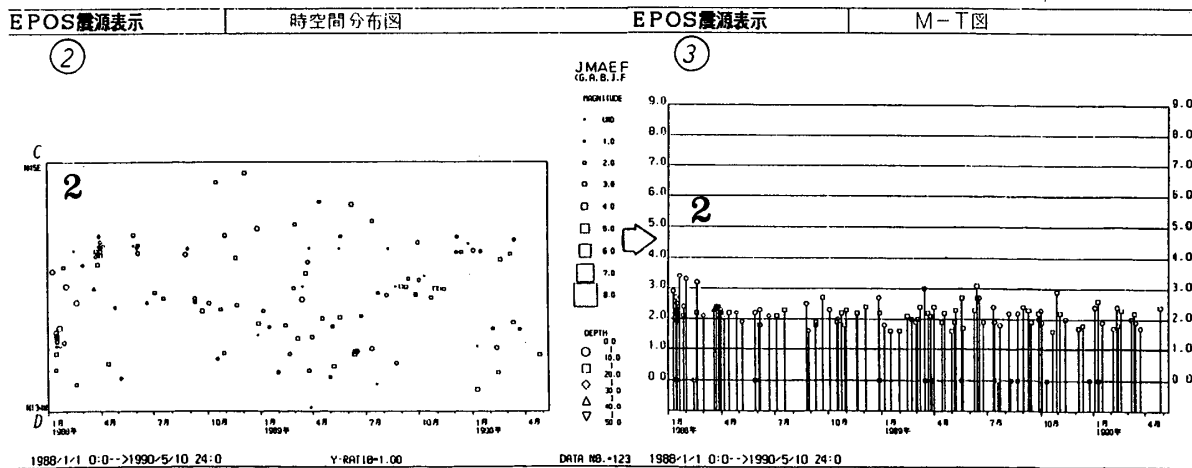
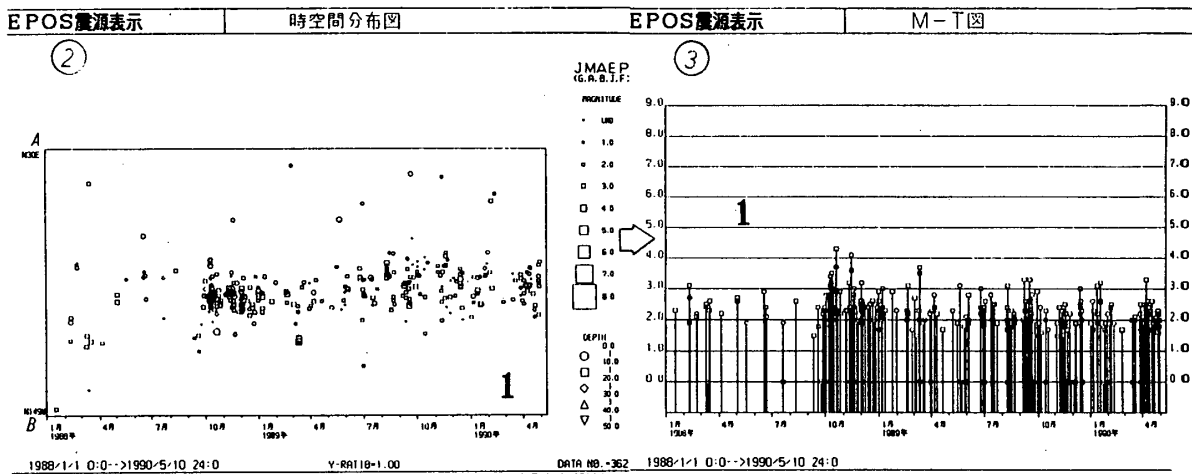
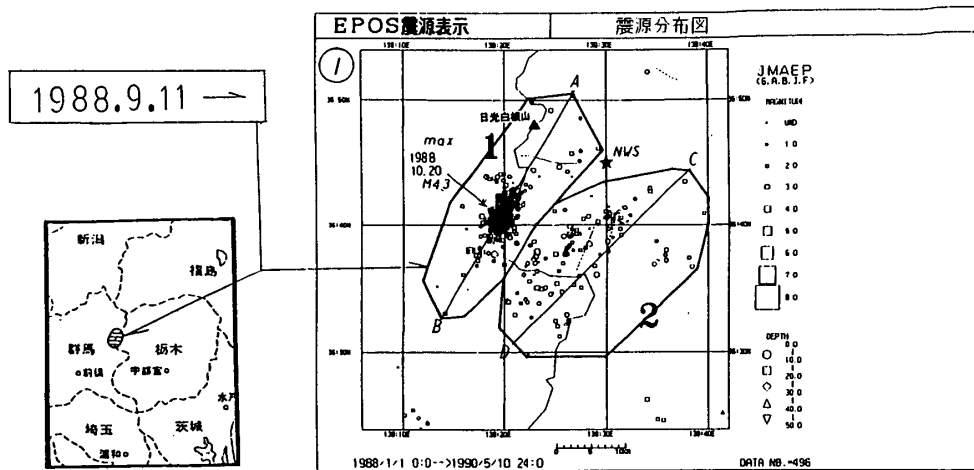
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

1988年9月11日頃から活発化した群馬・栃木県境の地震活動は、翌年1月に入って活動が低レベル化し、一時は終息するかに見えた。しかし、その後も活動は消長を繰り返しながら継続、本年3月末から活発化の傾向を示し始めた。この地震活動は、第1図-(1)に示した2つの活動域のうち、西側のブロック1の活動である。1988年1月1日～1990年5月10日までのこの領域における震源決定地震数は362個、このうち有感となった地震は17個*（震度の最大3：日光・2回）、最大地震は1988年10月20日02時12分のM4.3（震度の最大2：日光）で深さ12km。

なお、東側のブロック2の活動域における同期間の震源決定地震数は123個、このうち有感地震は2個**（震度の最大2：日光）、最大地震は1988年1月20日14時48分のM3.4（無感）で深さ7km。前者は後者に比べ、活動のレベルはかなり高い。しかし、ブロック1での活動が活発化する1988年9月11日以前については、後者の方が前者よりそのレベルが高い。この状況を第1図-(2)に示す。そして、これら2つのブロックの活動は、相補的な対応関係を示しているように見える。

注：1990年3月1日からの資料は暫定。図中の★（NWS）は日光測候所。有感地震の震度別内訳は、*が震度3→2回・同2→7回・同1→8回、**が震度2→1回・同1→1回、震度3の地震は1989年3月11日09時15分のM3.7（深さ12km）と同日13時14分のM3.5（深さ10km）である。

(1)



第1図 群馬・栃木県境の地震活動

(1) : 1988年1月1日~1990年5月10日

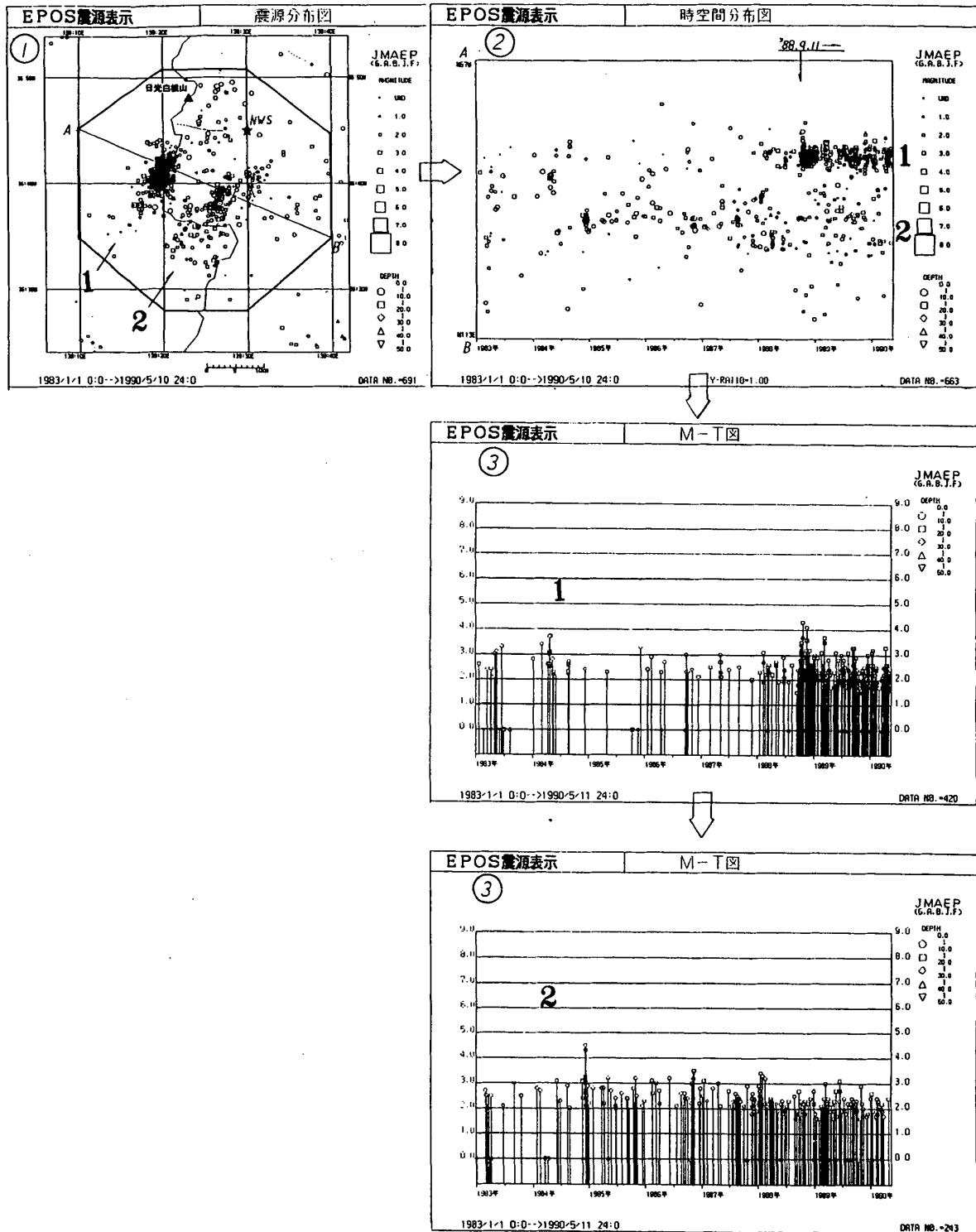
① : 震央分布, ②時空間分布, ③ : M-T図。

Fig. 1 Seismic activity near the border of Gunma and Tochigi Pref. (Sep. 1, 1988 – May 10, 1990).

(1): Jan. 1, 1988 – May 10, 1990, (2): Jan. 1, 1983 – May 10, 1990.

1 : Epicentral distribution, 2 : Space-time plot, 3 : M-T diagram.

(2)



(2) : 1983年1月1日~1990年5月10日

① : 震央分布, ②時空間分布, ③ : M-T図。

第1図つづき

Fig. 1 (Continued)